

左利き

10人に1人いる左利きの人は、子供の頃右利きに直された人もいます。筆者は家族や親戚にも左利きの人がいなかったのに、左利きの人に関心を払ってきませんでした。日本語の漢字等は右利きの方が早くきれいに書けるので、左利きの生徒を見ると器用に文字を書くことに感心してきました。身近な孫が左利きだと分かったので、1万人の脳を見た名医が教える『すごい左利き』（ダイヤモンド社）を購入しました。左利きの脳内科医の加藤俊徳氏は脳科学の観点から左利きの人がもたらす特性を具体的に解説していて読

みやすい本でした。

言語処理が得意な左脳を刺激するのは右手であるため、左利きの人には非言語情報処理が得意な右脳を主に働かせるので言葉をまとめるのに時間がかかる傾向があると言っています。

また、子供の頃音読に困難を抱えていたので「利き手によって脳の発達の仕方が異なることを伝え、コンプレックスを解消させた」とも言っています。

「脳の成長には、手を使わせたいように使わせることが重要」と指摘。左利きを無理矢理直すのは、心理的な負担が大きいので、矯正を推奨しないとも書いていました。定規やカメラ等利き手に関係ない道具づくりが求められています。

○語彙力チェック

①「ディテール」の意味は次のどれか。

A 細部 B 全体の構成 C 遠近感

②「データ」にあたる日本語は次のどれか。

A 文献 B 資料 C 調査

③「論文のテーマ」という時の「テーマ」の意味は次のどれか。

A タイトル B 中心的課題 C 筆者の考え

④「手管（てくだ）」の用法として正しいのは次のどれか。

A 手管を曲げる

B 手管を伸ばす

C 手管を弄（ろう）する

⑤「梃子（てこ）」でも動かない」とはどんな意味か、次の中から選べ。

A 壊れてしまうこと

B 道具を使っても動かないこと

C 信念を曲げないこと

⑥「銜う」の読みは次のどれか。

A てらう B へつらう C くらう

（解答）①A ②B ③B ④C ⑤C

⑥A